

寒川町

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告(速報)

I 調査の概要

1 調査票の種類と調査対象者等

「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」(就学前児童用)	
調査対象者	就学前児童を持つ保護者
調査件数	1,970件
調査内容	家族状況、就労状況、日常的な幼稚園・保育施設等の利用、育児休業の取得状況等

2 調査の実施方法と配付・回収状況

(1) 調査時期と調査方法

調査時期：平成30年11月～12月

調査方法：郵送により調査票を配付、郵送・Web・回収箱により回収

(2) 調査票の配付・回収状況

調査票による配付・回収状況は以下のとおりである。

調査対象者区分	就学前児童の保護者		
	配付数	回収数	回収率
町全域	1,970件	850件	43.1%

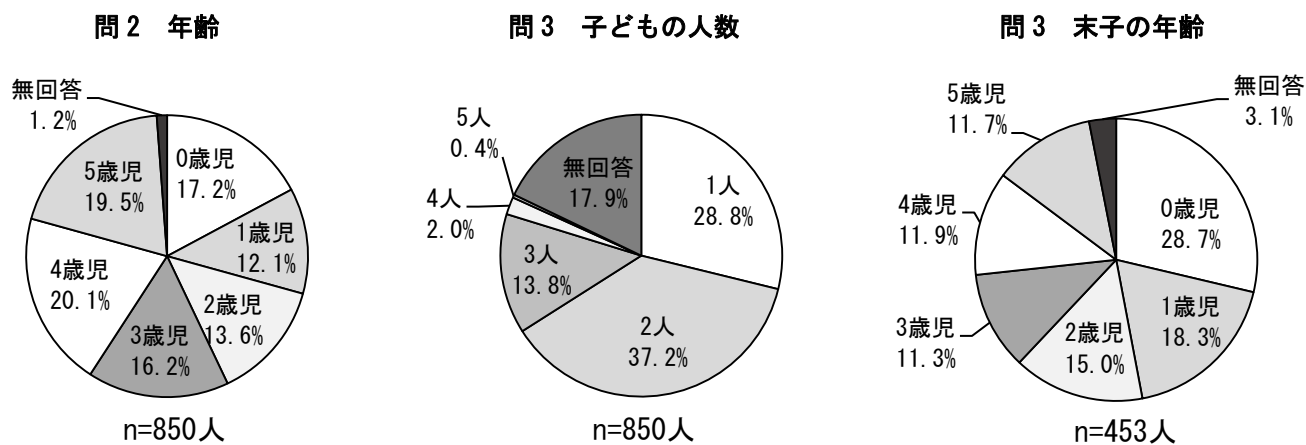
3 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。

4 調査対象者の属性・家族状況

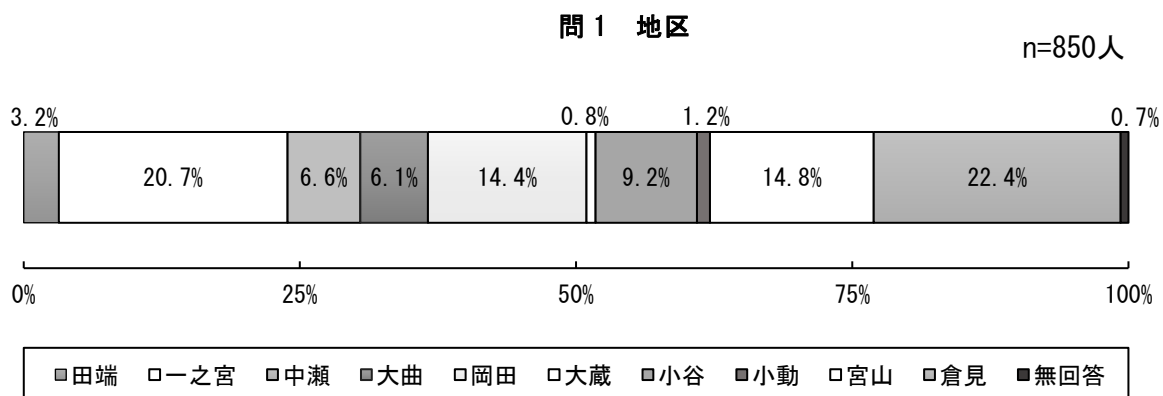
(1) 就学前児童の属性

回答された就学前児童の属性は以下のとおりである。



(2) 居住地区の状況

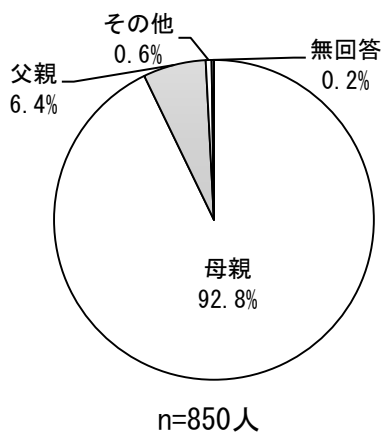
回答者が居住している地区は「倉見」が 22.4%で最も高く、次いで「一之宮」20.7%、「宮山」14.8%の順となっている。



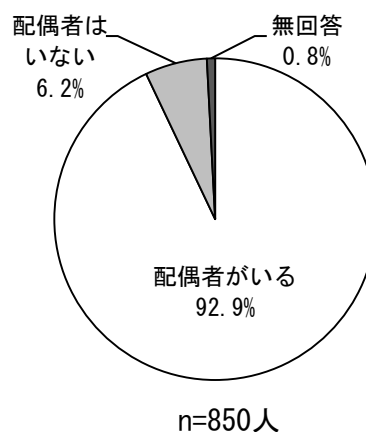
(3) 調査回答者の状況

調査回答者は「母親」が 92.8%、配偶者関係は 92.9%が「配偶者がいる」と回答している。また、子育てを主に行っている人は「父母ともに」が 52.9%、「主に母親」が 45.3%と回答している。

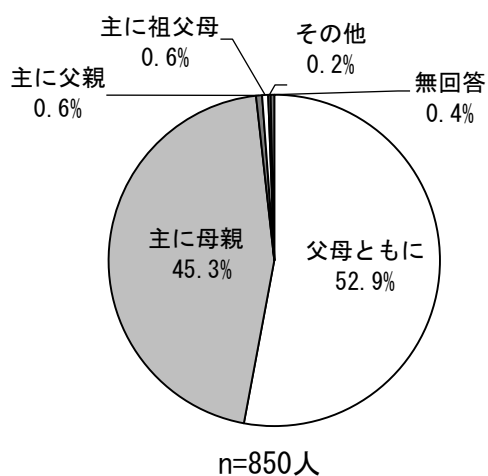
問 4 調査回答者



問 5 配偶者関係



問 6 子育てを主に行っている人



Ⅱ 調査結果

1 子育ての環境について

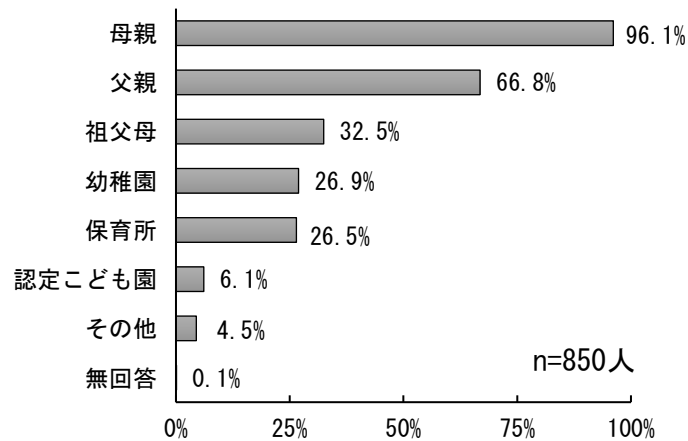
子育てに日常的に関わっている人は「母親」が96.1%、「父親」が66.8%となっている。

子育てに影響を与えると思う環境は「家庭」が92.7%と最も高い。

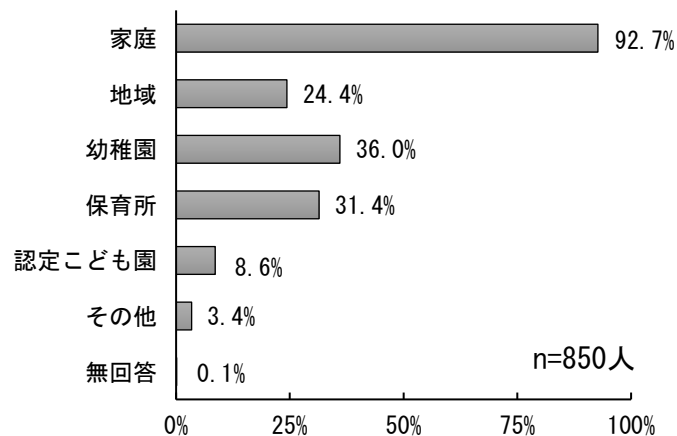
子どもをみてもらえる親族・知人については「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」割合が58.1%で、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」割合は27.5%となっている。

気軽に相談できる人が「いる」割合は87.9%で、相談先は「祖父母等の親族」が81.0%、「友人や知人」が74.8%となっている。

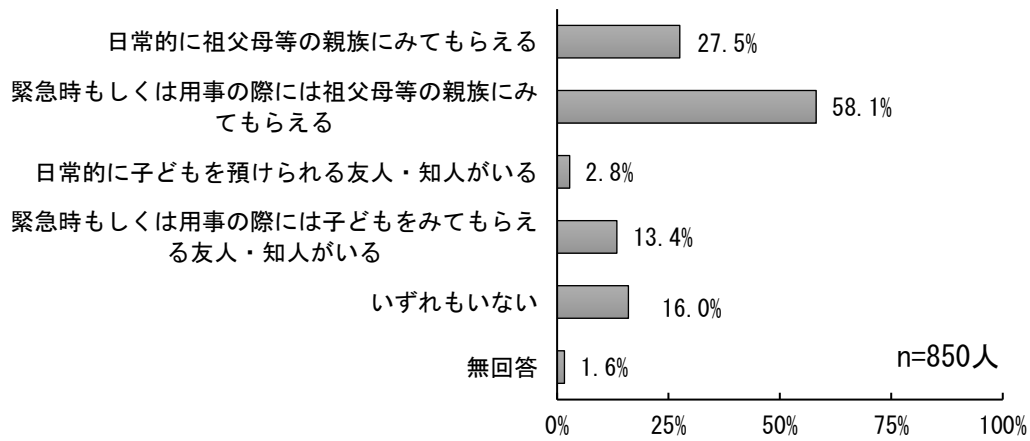
問7 子育てに日常的に関わっている人



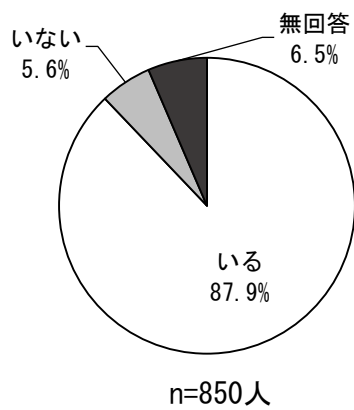
問8 子育てにもっとも影響を与えると思う環境



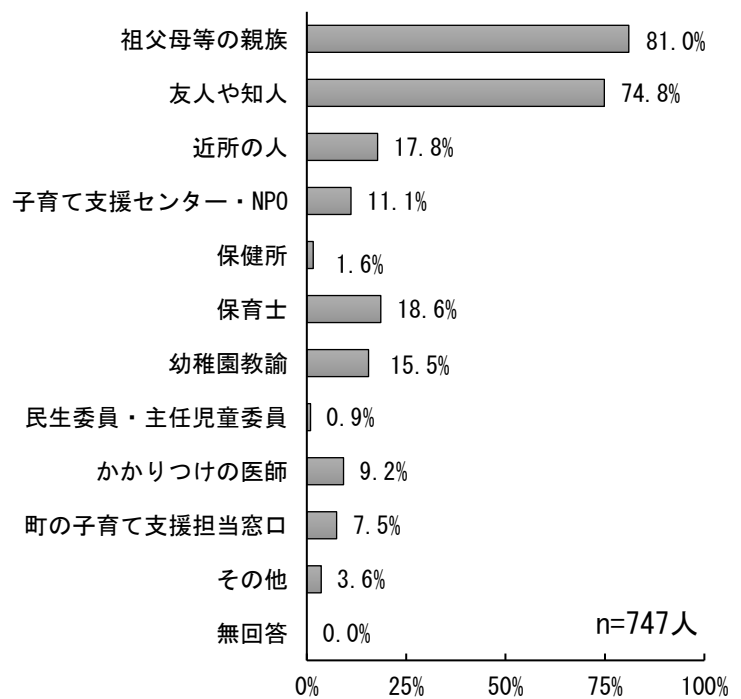
問9 子どもをみてもらえる親族・知人



問10 気軽に相談できる人



問10-1 相談先



2 保護者の就労状況

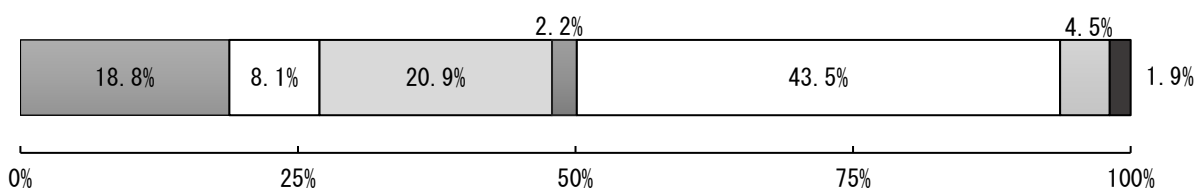
(1) 母親の就労状況

「以前は就労していたが、現在は就労していない」が43.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない」が20.9%、「フルタイムで就労しており、休業中ではない」が18.8%となっている。

就労日数は「5日」/週が58.9%、就労時間は「8～9時間」/日が41.1%で高くなっている。

問 12(1) 母親の就労状況

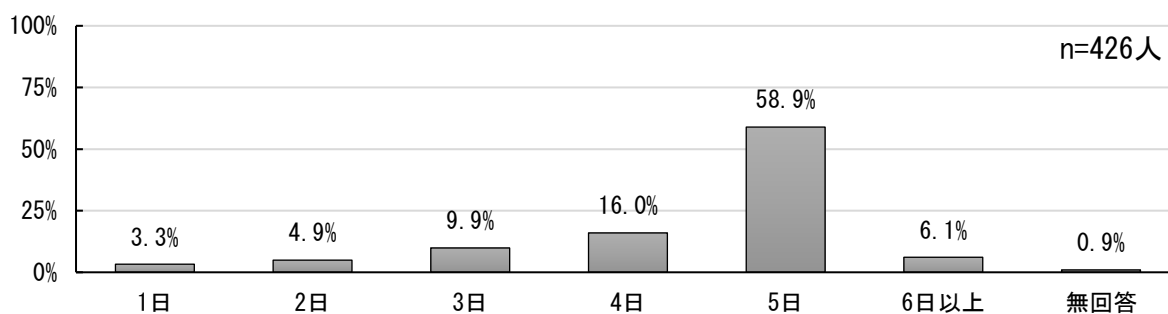
n=850人



- フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

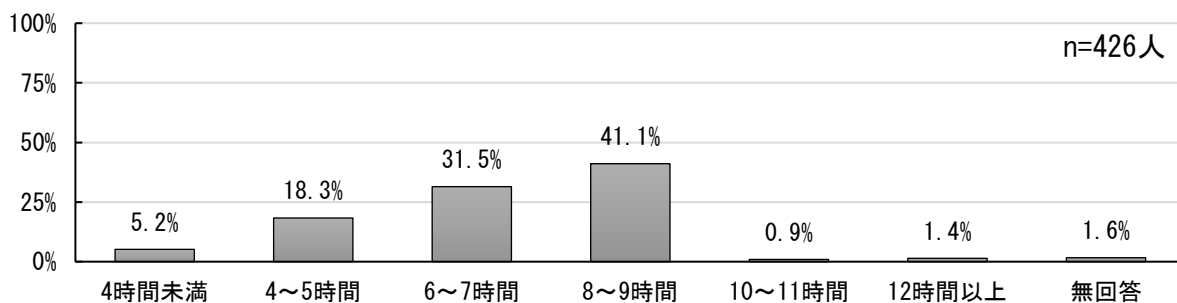
問 12(1)-1 母親の就労日数 (1週あたり)

n=426人



問 12(1)-1 母親の就労時間 (1日あたり)

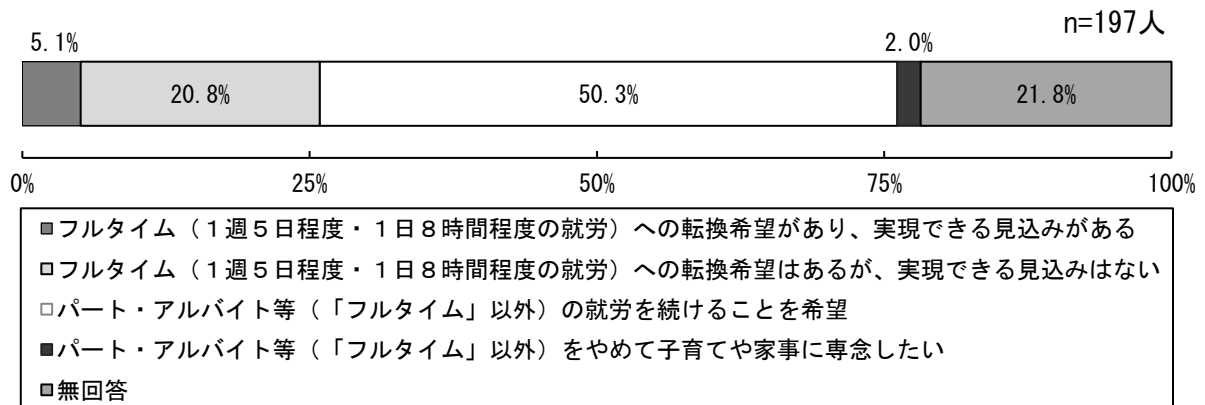
n=426人



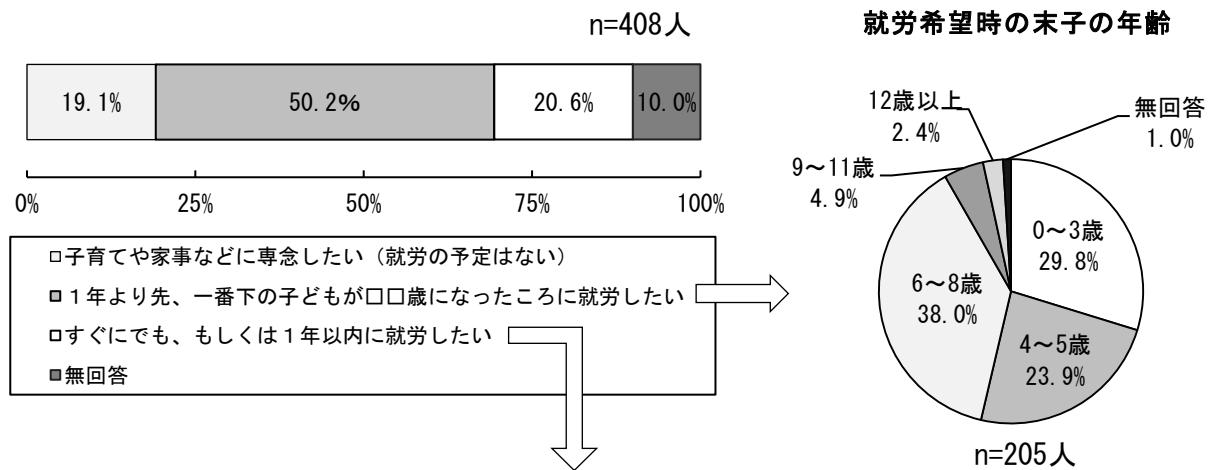
パートタイムからフルタイムへの意向は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 50.3%と最も高く、次いで 20.8%が「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答している。

就労していない母親の今後の就労希望は 70.8%が今後の就労を希望しており、そのうち、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 20.6%で、希望する就労形態は「フルタイム」が 13.1%、「パートタイム・アルバイト等」が 85.7%となっている。

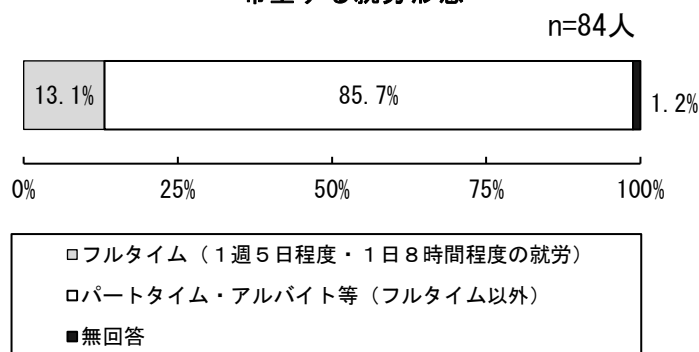
問 13(1) 母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向



問 14(1) 就労していない母親の今後の就労希望



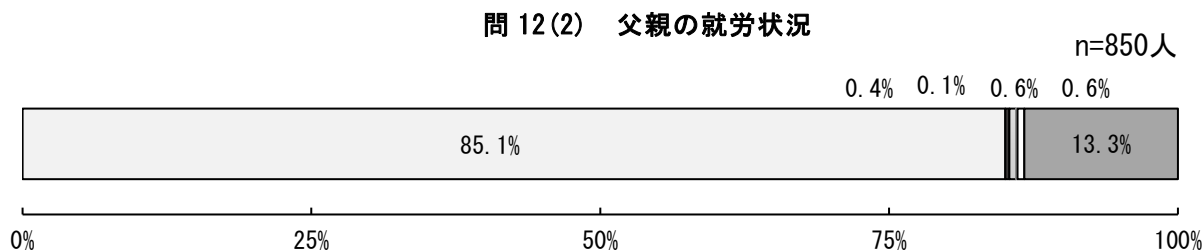
希望する就労形態



(2) 父親の就労状況

父親の85.1%が「フルタイムで就労しており、休業中ではない」と回答している。

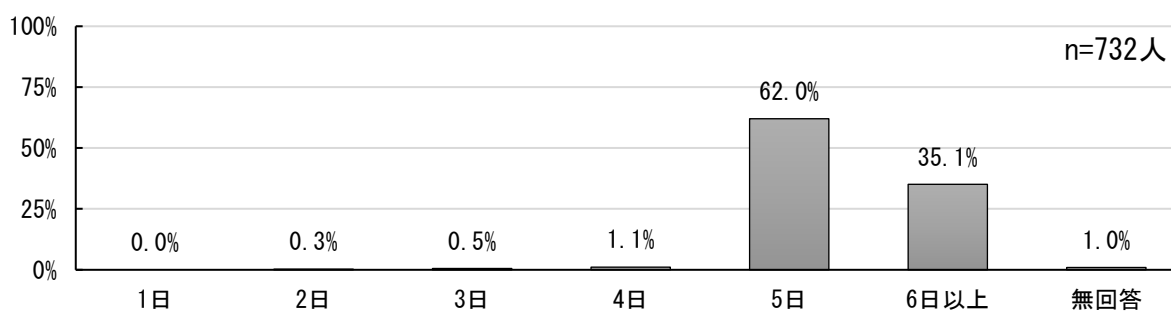
就労日数は「5日」/週が62.0%、「6日以上」/週が35.1%、就労時間は「8～9時間」/日が43.3%で高くなっている。



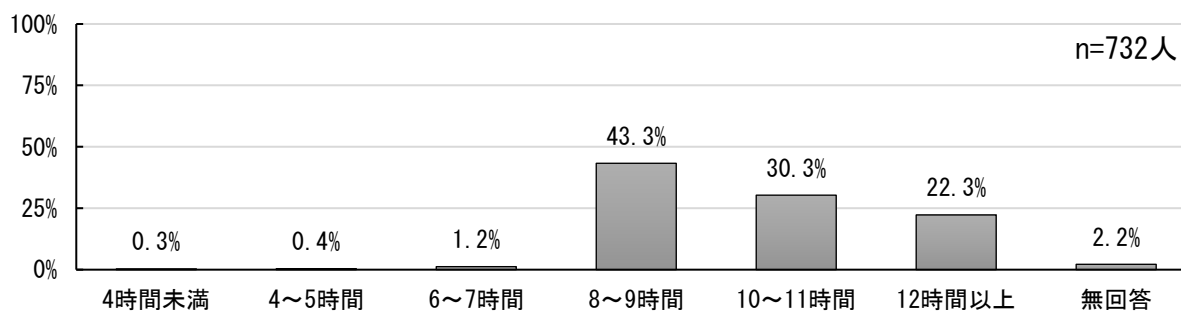
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 無回答

※「これまで就労したことがない」は該当なし。

問 12(2)-1 父親の就労日数（1週当たり）



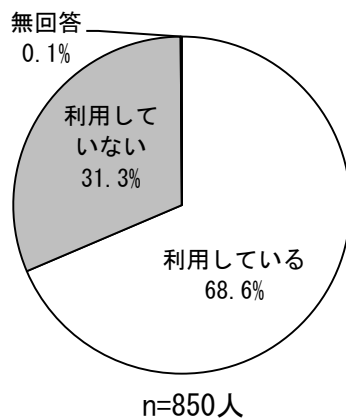
問 12(2)-1 父親の就労時間（1日当たり）



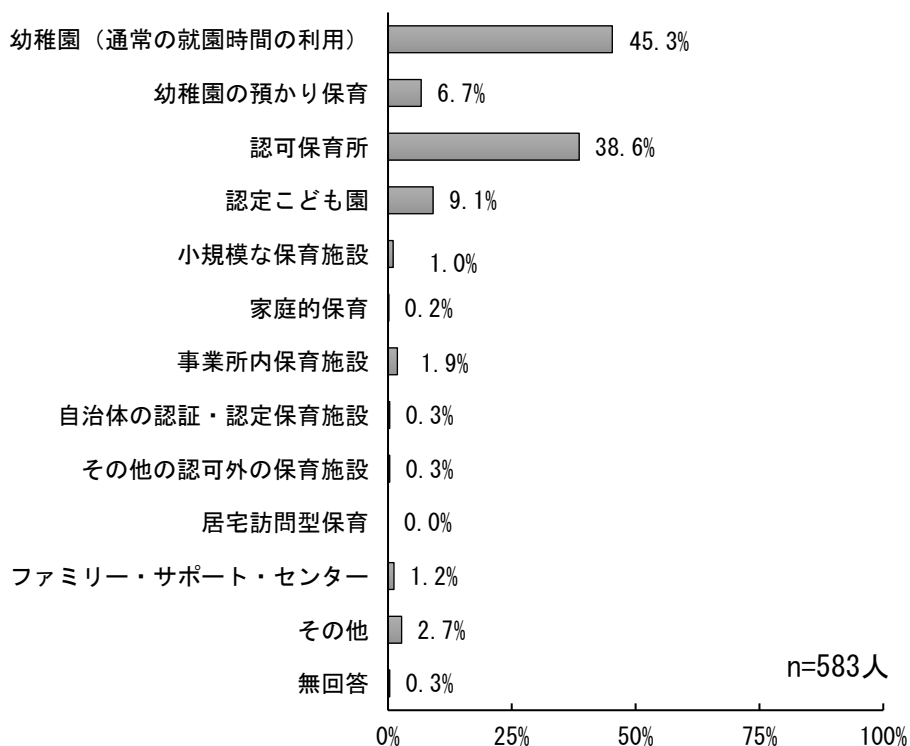
3 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」は68.6%で、そのうち、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が45.3%、「認可保育所」が38.6%となっている。

問 15 幼稚園・保育施設等の利用状況

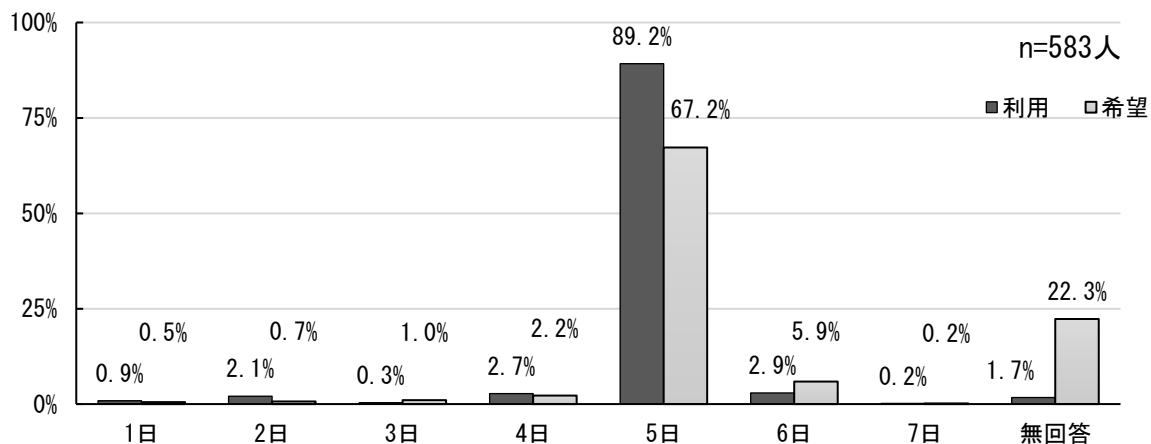


問 15-1 定期的に利用している幼稚園・保育施設等

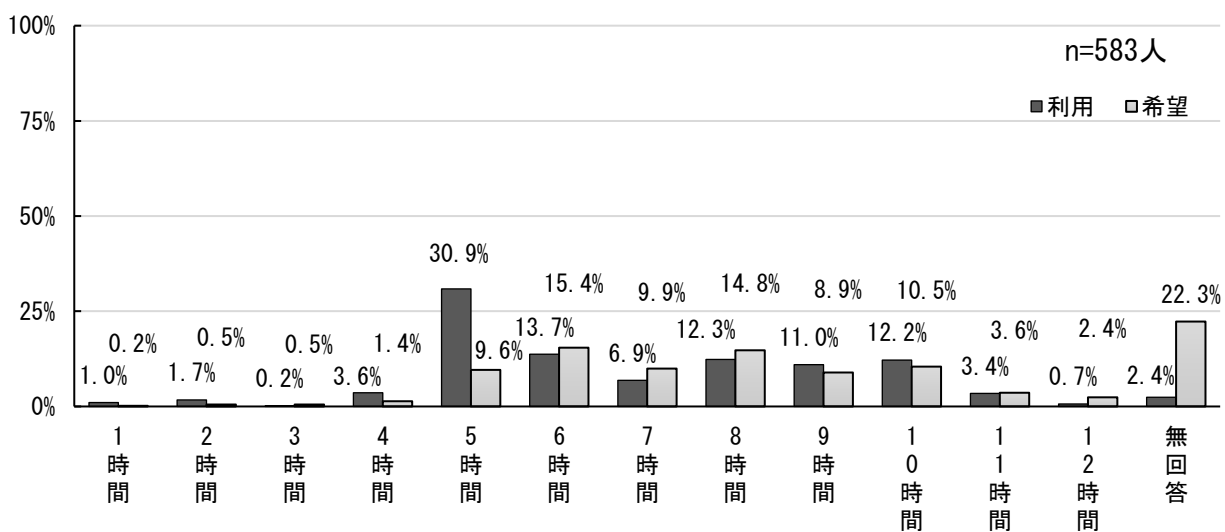


現在の利用日数と希望日数も、週5日が最も高くなっている。利用時間は5時間が最も高くなっているが、希望時間では5～10時間で10%～15%程度と回答がわかれている。

問 15-2 定期的にご利用している幼稚園・保育施設等の利用日数と希望日数（1週当たり）



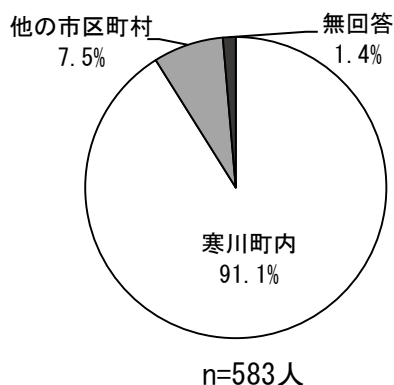
問 15-2 定期的にご利用している幼稚園・保育施設等の利用時間と希望時間（1日当たり）



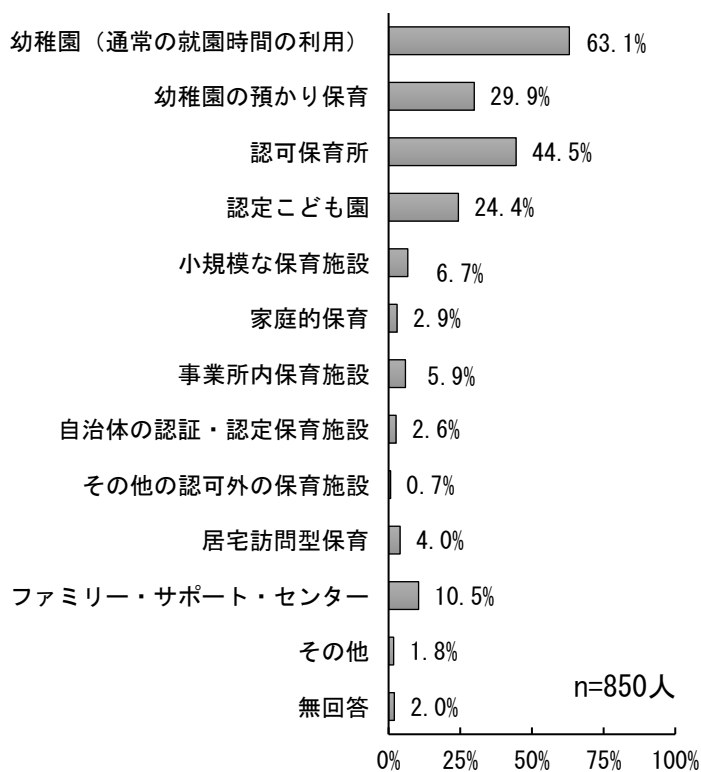
日常的に利用している施設は「寒川町内」が 91.1%、利用希望も「寒川町内」が 92.8%となっている。また、利用したい施設等は「幼稚園（通常の就園時間の利用）」で 63.1%と高く、次いで「認可保育所」が 44.5%、「幼稚園の預かり保育」が 29.9%、「認定こども園」が 24.4%となっている。

幼稚園とそれ以外の教育・保育事業を利用したいと考える人うち、特に幼稚園の利用を強く希望する人は 63.5%となっている。

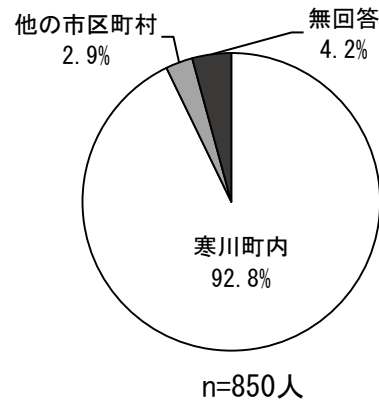
問 15-3 日常的に利用している施設等の場所



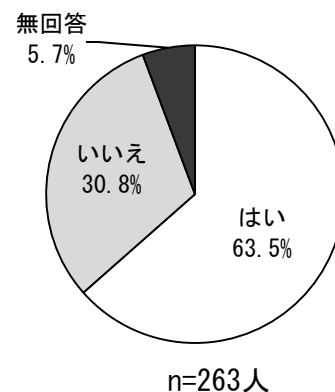
問 16 平日利用したいと考える幼稚園・保育施設等



問 16-1 利用したい場所



問 16-2 幼稚園の利用を強く希望する

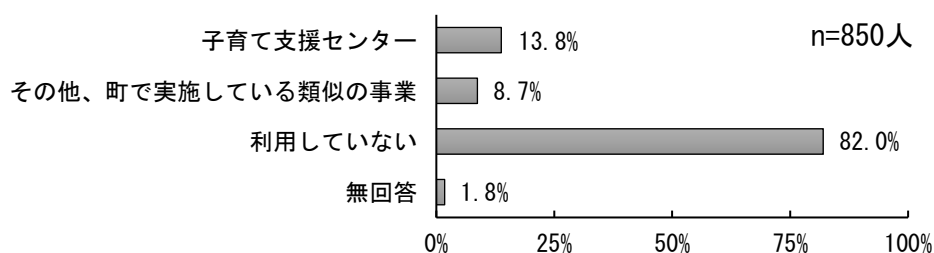


4 地域子育て支援事業の現状と今後の利用希望

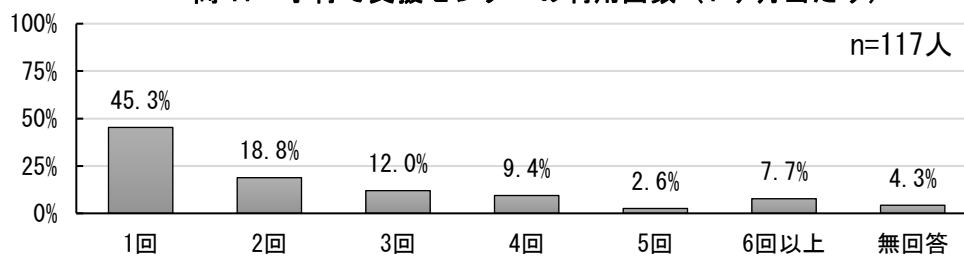
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

地域子育て支援拠点事業は「利用していない」が82.0%と最も高く、「子育て支援センター」の利用は13.8%となっている。今後の利用については「利用していないが利用したい」が20.4%となっている。

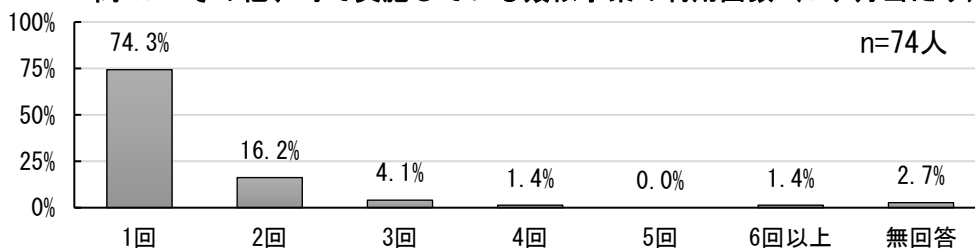
問 17 地域子育て支援拠点事業の利用状況



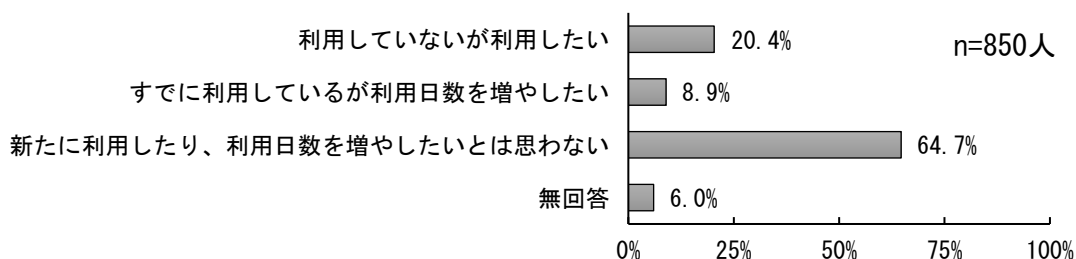
問 17 子育て支援センターの利用回数（1ヶ月当たり）



問 17 その他、町で実施している類似事業の利用回数（1ヶ月当たり）



問 18 地域子育て支援拠点事業の利用意向

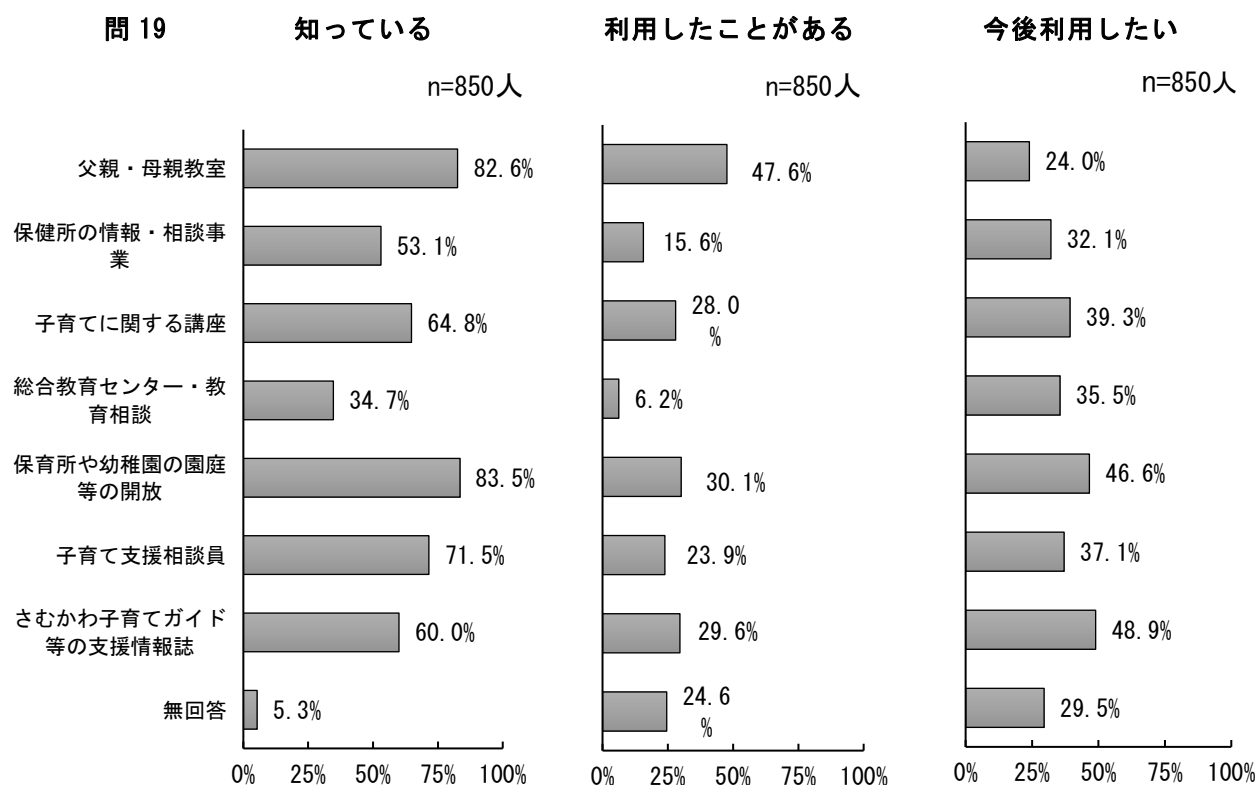


(2) 地域子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について

地域子育て支援事業の認知度は「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 83.5%、「父親・母親教室」が 82.6%となっている。

利用したことがある事業は「父親・母親教室」が 47.6%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 30.1%で上記の 2 事業が高くなっている。

今後の利用意向について、利用実績から利用意向が増加しているのは「総合教育センター・教育相談」が 6.2%から 35.5%、「さむかわ子育てガイド等の支援情報誌」が 29.6%から 48.9%となっている。



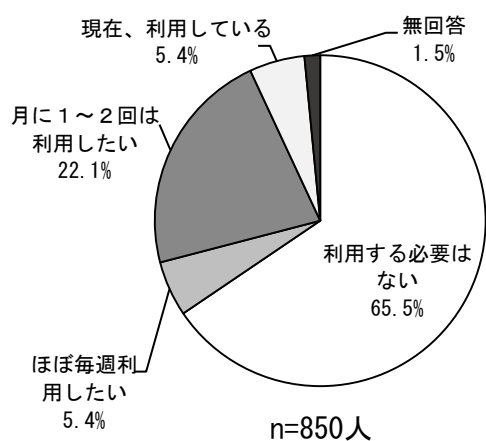
5 土曜日・休日の教育・保育事業の利用希望

土曜日の利用希望は「利用する必要はない」が65.5%、「月に1～2回は利用したい」が22.1%となっている。

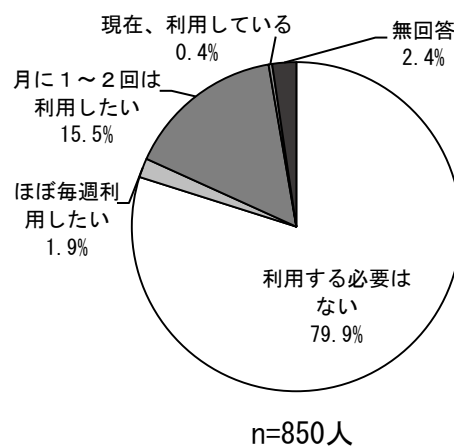
日曜日・祝日では「利用する必要はない」が79.9%、「月に1～2回は利用したい」が15.5%となっている。

夏休み・冬休みなどの長期休暇中の利用希望は「利用する必要はない」が44.7%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が44.3%となっている。

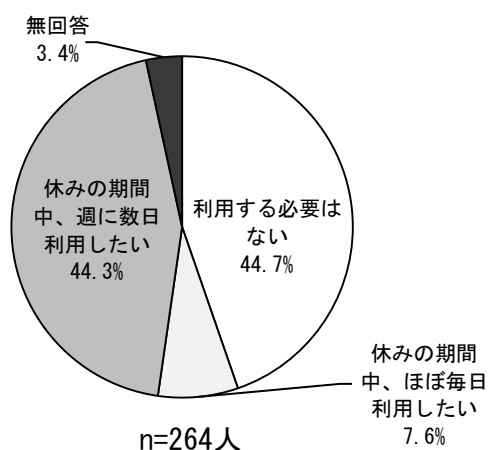
問 20(1) 土曜日の利用希望



問 20(2) 日曜日・祝日の利用希望



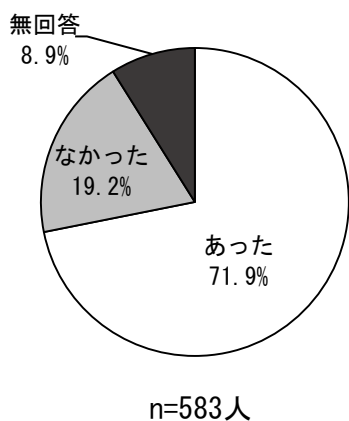
問 21 長期休暇中の利用希望（幼稚園利用者）



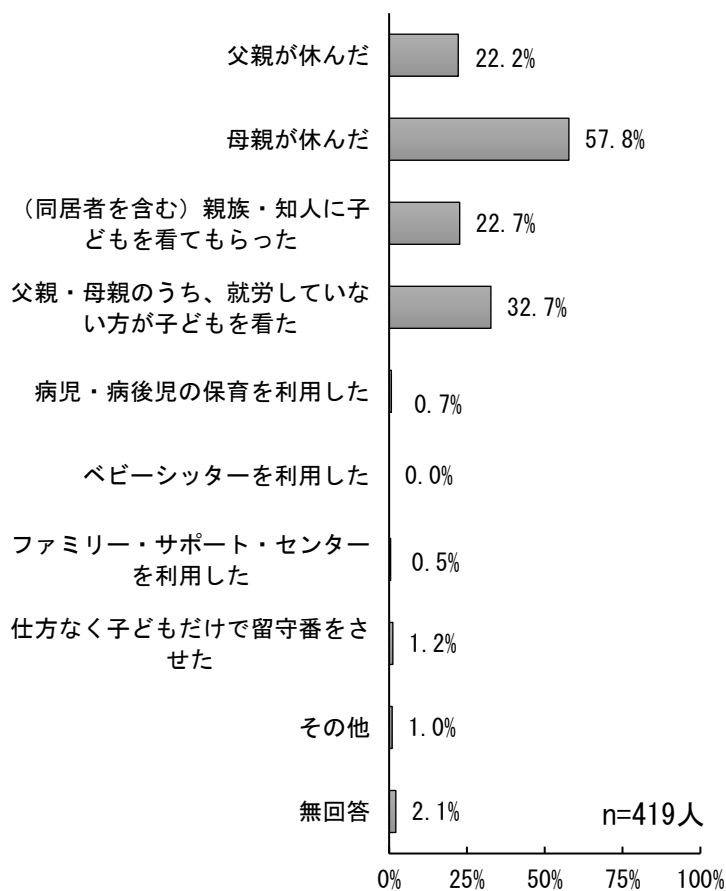
6 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

病気やケガで、通常の教育・保育事業が利用できなかった経験があったのは71.9%で、その対処法は「母親が休んだ」が57.8%と最も高く、次いで「父親・母親のうち、就労していない方が子どもを見た」が32.7%、「親族・知人に子どもを看てもらった」が22.7%となっている。

問 22 病気やケガで、通常の事業が利用できなかったことの有無



問 22-1 この1年間の対処方法

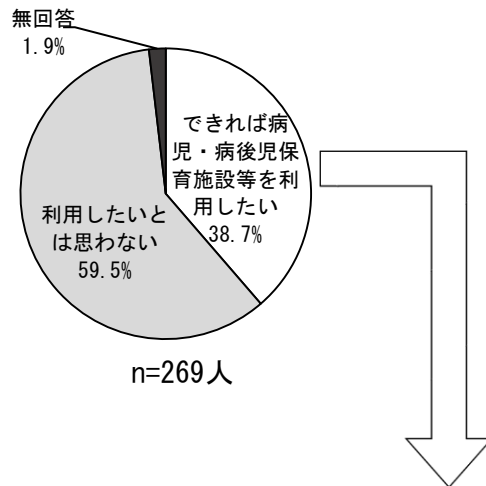


父親・母親が休んだ人で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が38.7%、「利用したいとは思わない」が59.5%と回答している。

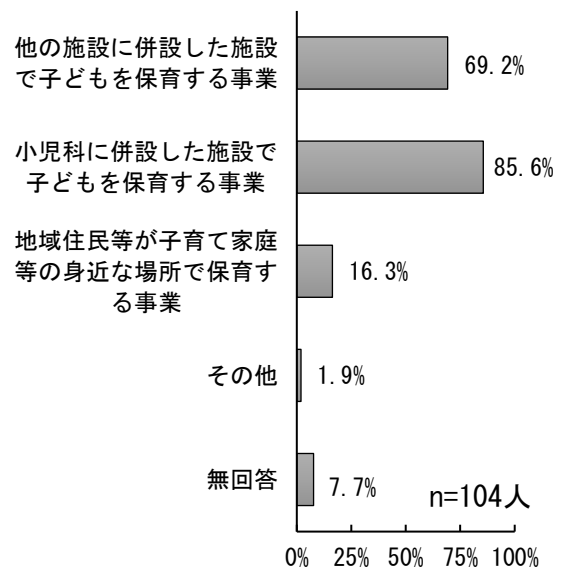
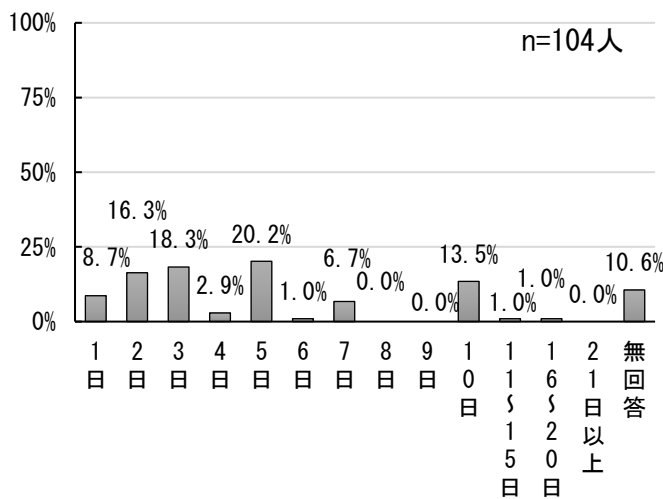
利用したい人が思う望ましい事業形態は「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が85.6%、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が69.2%となっている。

望ましい希望日数は「5日」が20.2%、「3日」が18.3%となっている。

問 22-2 父親・母親が休んだ人の病児・病後児保育施設利用意向

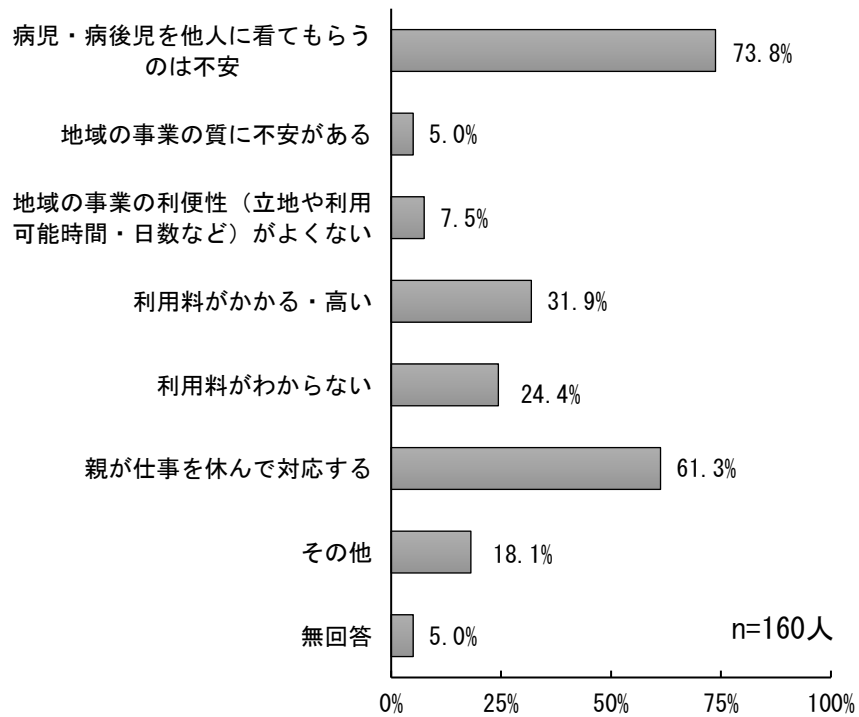


問 22-2~3 子どもを預ける場合の望ましい希望日数（年間）と事業形態



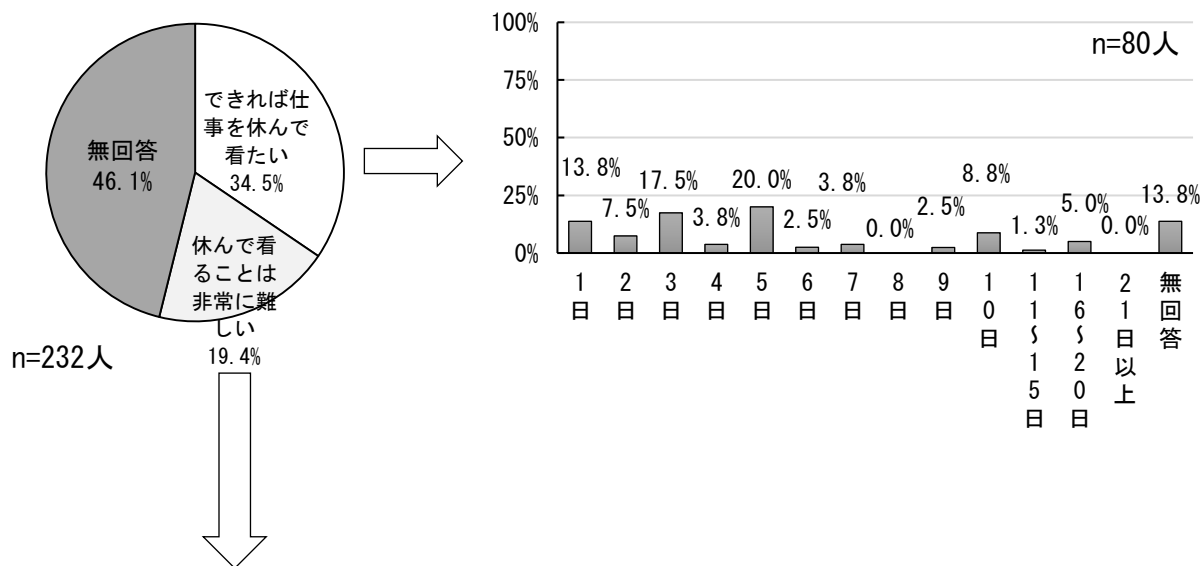
病児・病後児のための保育施設利用意向のない人の理由は「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が73.8%で最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が61.3%、「利用料がかかる・高い」が31.9%となっている。

問 22-4 病児・病後児のための保育施設利用意向のない人の理由

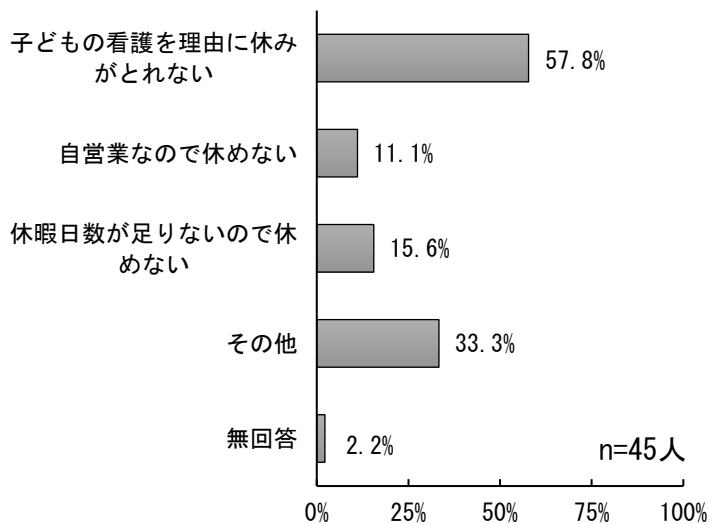


父母が休む以外の対処方法を選んだ人で、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」意向は、「休んで看することは非常に難しい」が19.4%となっている。その理由としては「子どもの看護を理由に休みがとれない」が57.8%で最も高く、次いで「その他」が33.3%となっている。

問 22-5 父母が休む以外の対処方法を選んだ人の「父母が休んで看たい」意向と希望日数



問 22-6 「仕事を休んで看することは非常に難しい」の理由



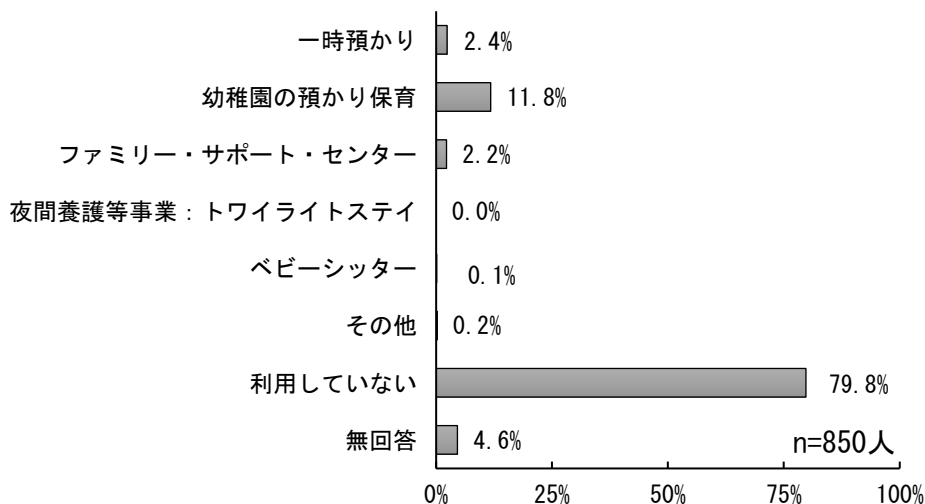
「その他」の主な理由

- 職場の環境・雰囲気（仕事が忙しい、人数不足、周囲や自分に負担がかかる等）
- 収入減となる、授業参観やほかの用事で休みを取りたい等

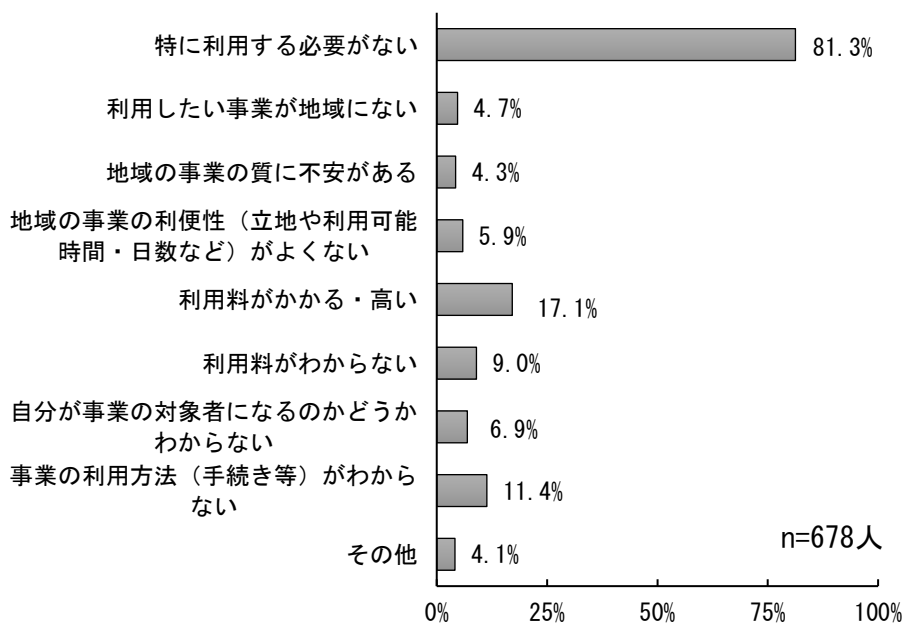
7 不定期の一時保育の利用状況

不定期の教育・保育事業の利用は「利用していない」が79.8%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が11.8%となっている。利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が81.3%、「利用料がかかる・高い」が17.1%となっている。

問 23 一時保育事業の利用状況

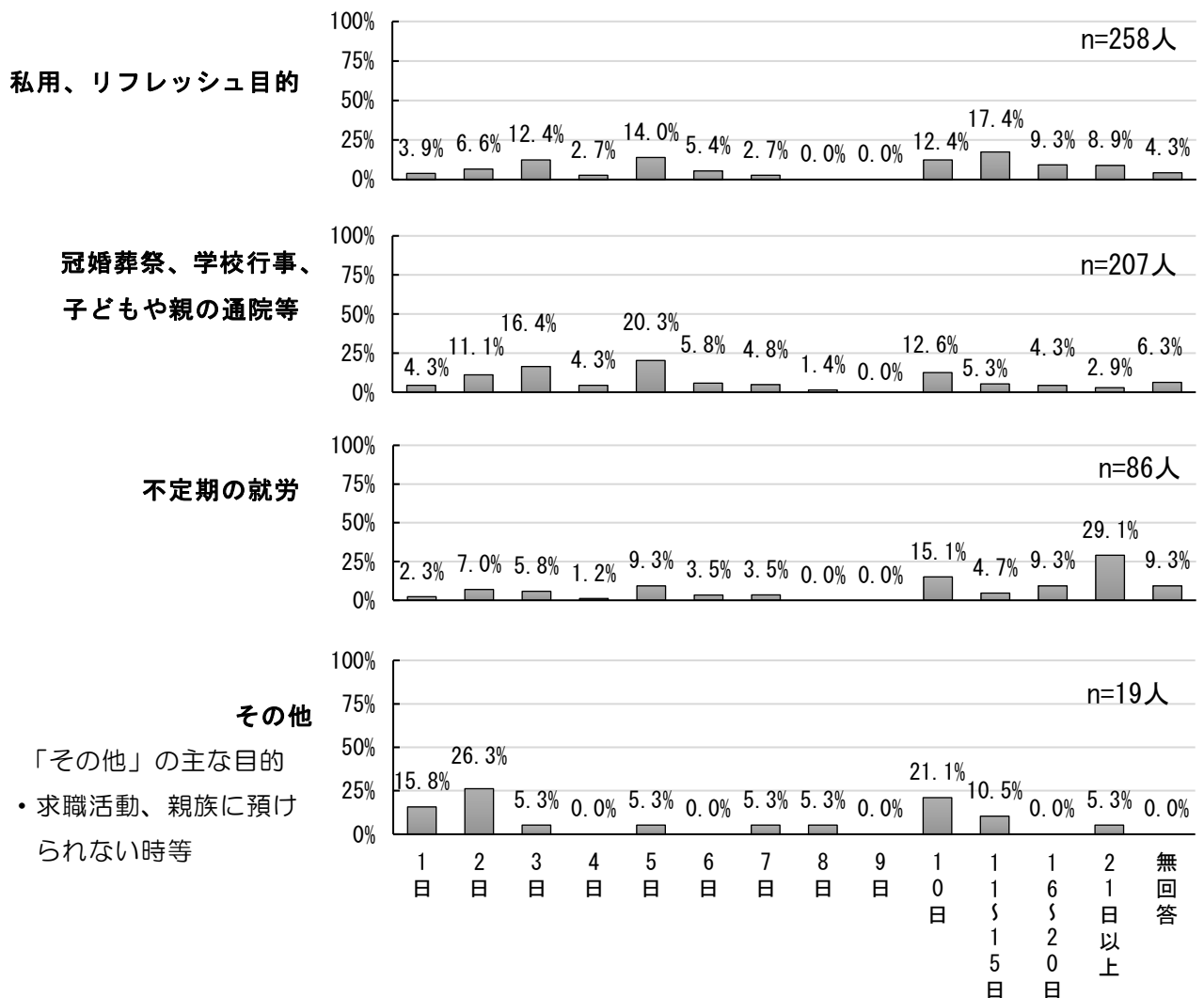
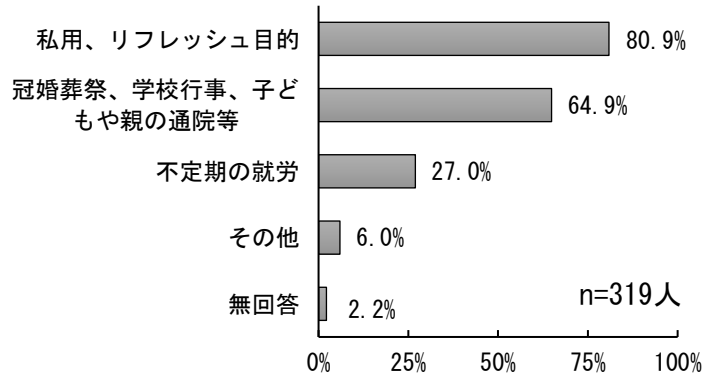
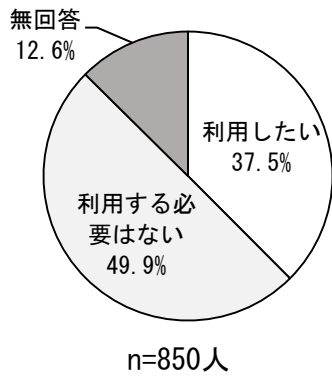


問 23-1 一時保育を利用していない理由



私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用する必要があるかについては「利用したい」が 37.5%で、その目的は「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 80.9%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 64.9%、「不定期の就労」が 27.0%、「その他」が 6.0%となっている。

問 24 一時保育事業の利用希望とその目的及び必要日数



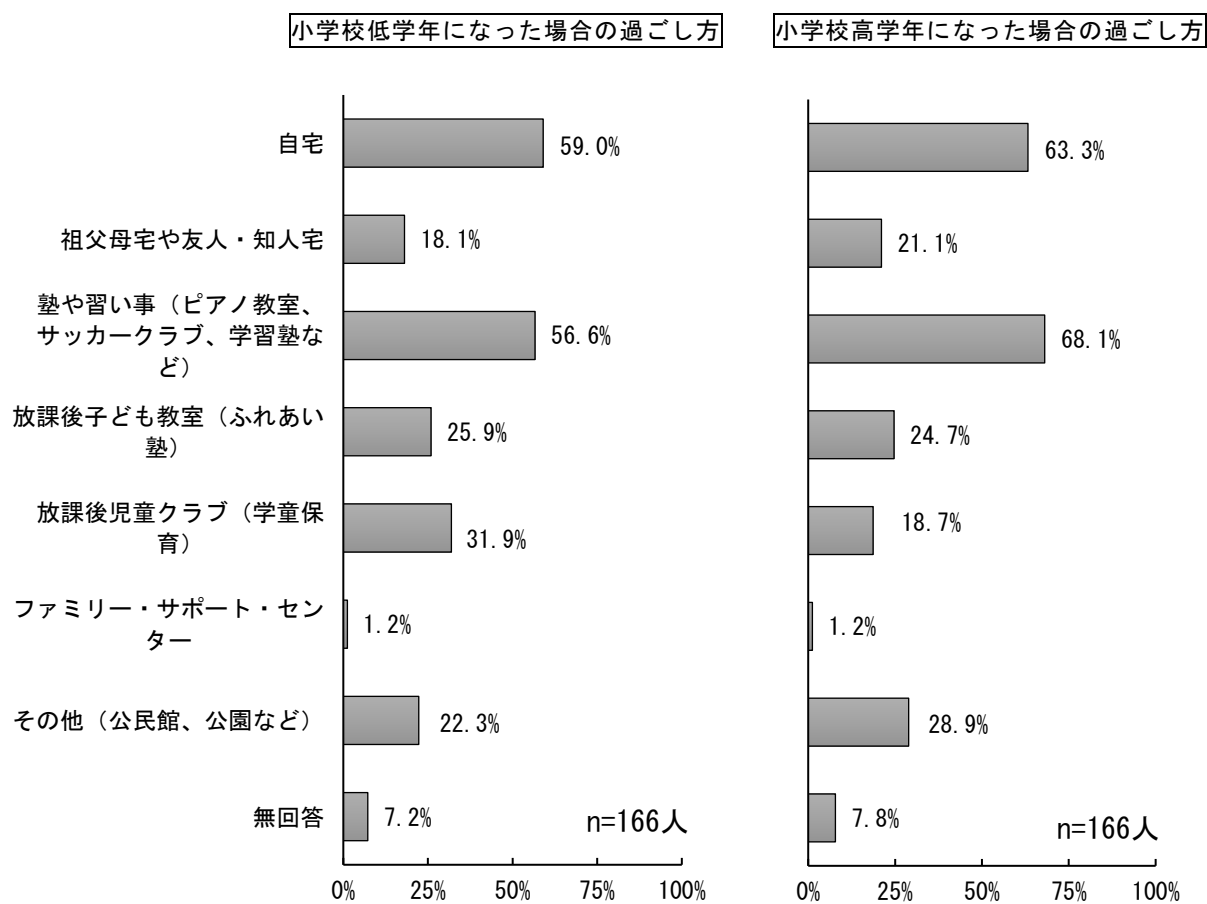
8 放課後の過ごし方の希望と学童保育所の利用希望

(1) 平日の放課後の過ごし方

平日の放課後の過ごし方について、就学前児童が小学校低学年になった場合の希望は「自宅」が59.0%、「塾や習いごと（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が56.6%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が31.9%となっている。

小学校高学年になった場合の希望は「塾や習いごと（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が68.1%、「自宅」が63.3%、「その他（公民館、公園など）」が28.9%となっている。

問 26・問 27 放課後の過ごし方の希望



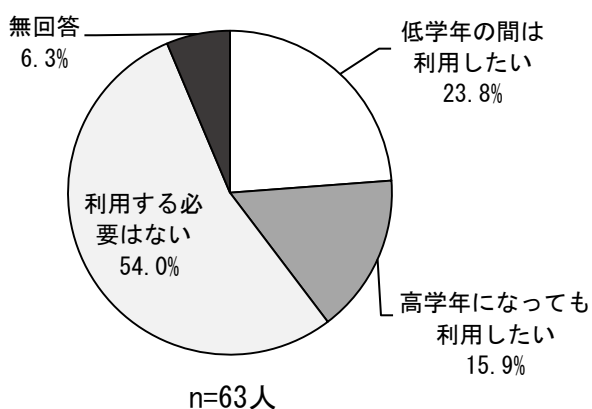
※学年齢5歳のみ回答

(2) 土曜日・休日の学童保育所利用希望

土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望について、「低学年の間は利用したい」が23.8%、「高学年になっても利用したい」が15.9%「利用する必要はない」が54.0%となっている。

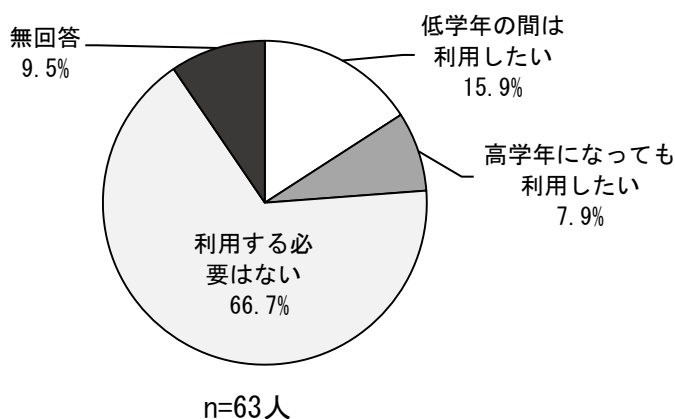
日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望について、「低学年の間は利用したい」が15.9%、「高学年になっても利用したい」が7.9%、「利用する必要はない」が66.7%となっている。

問 28(1) 土曜日の利用希望



※学年齢5歳のみ回答

問 28(2) 日曜日・祝日の利用希望



※学年齢5歳のみ回答

9 寒川町の子育ての環境や支援への満足度

満足度は「満足度が低い」「満足度がやや低い」の合算が 27.5%、「普通」が 43.1%、「満足度が高い」「満足度がやや高い」の合算が 23.6%となっている。

問 31 寒川町の子育て支援の環境や支援への満足度の状況

